

～ 令和 4 年 2 月以降の主なトピックス ～

1 チャギントンラッピング電車の運行

市民に明るい話題を提供するとともに、市電の魅力向上と利用者増を図るため、岡山電気軌道株式会社と連携し、世界中で人気を博す鉄道アニメ「チャギントン」のキャラクターラッピング電車の運行を開始した。

(1) 運行開始日 令和 4 年 2 月 25 日

(2) 運行等

通常運行で使用（貸切は当面の間休止中）

局ホームページに運行予定表（電停毎の通過時刻）を掲載中

**2 ダイヤ改正の実施**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるインバウンドの消滅や行動自粛等から、市電・市バスの利用は大幅に減少しており、依然として収束の見通しがつかないこと、コロナ禍における新たな生活様式が定着してきていることから、ICカードシステムの乗降データや定点調査等を踏まえ、利用者への影響ができるだけ小さくなるよう配慮した上で、乗客需要に見合ったダイヤ編成に改めた。

(1) 改正日 令和 4 年 4 月 1 日（金曜日） ※市電・市バス共通

(2) 運行本数

① 市電

	平日ダイヤ	土曜日ダイヤ	日祝ダイヤ
改正前	660 本	640 本	611 本
改正後	656 本	553 本	544 本
増減	▲4 本（0.6%減）	▲87 本（13.6%減）	▲67 本（11.0%減）

- ・平日ダイヤは、鹿児島駅前停留場供用開始（令和 3 年 3 月 27 日）に合わせて、運行の効率化を図るため 17 本を既に減便していること、また、通勤・通学時間帯は回復基調にあることから、今回は大幅な減便は実施しないこととした。
- ・土曜日及び日祝ダイヤは、どの時間帯も全般的に利用者が減少していることから、それぞれ 87 本、67 本を減便した。

② 市バス

	平日ダイヤ	土曜日ダイヤ	日祝ダイヤ
改正前	838本	709本	704本
改正後	787本	661本	656本
増減	▲51本(6.1%減)	▲48本(6.8%減)	▲48本(6.8%減)

- ・見直し路線(22路線中5路線 11番線・12番線・17番線・18番線・27番線)を選定し、主に昼間帯の運行間隔を広げることにより、減便を伴う改正とした。
- ・11番線・12番線においては、利便性向上やみなと大通り公園での折り返しの解消、浜町車庫の有効活用を図ることを目的として、4月1日の鹿児島駅前広場供用開始に合わせ、栄町バス停まで路線を延伸した。

3 電停ネーミングライツの導入

電停に「副呼称※」を付ける権利を売却することとし、現在、募集を行っているところである。

※副呼称…電停の正式名称に続けて表示又は案内する呼称

(1) 目的

新たな財源の確保及び命名権者の提案による電停の待合環境向上

(2) 対象電停

全電停(37電停)

(3) ネーミングライツ料(標準額)

1電停 年額100万円

(4) 契約期間

令和5年1月～令和7年12月(3年間) ※3年単位で期間延長可

(5) 受付期間

4月27日～7月19日 局ホームページや交通局内乗車券発売所にて募集要項等配付

(6) 売却先の選定

企画提案協議による

※局内の「電停ネーミングライツ検討委員会」で購入価格、待合環境の向上に資する提案などを審査

(7) 副呼称を表示・案内する媒体(変更費用は局負担)

- ① 電停標識(行灯)
- ② 電停内路線案内図
- ③ 電車内放送(次停留場案内)
- ④ 電車内停留場名表示器
- ⑤ 電車内路線案内図
- ⑥ 市電・市バス路線案内図

